

「ぜひ多くの人に」鑑賞を勧める声・声

『学校をつくろう』完成披露試写会



創立者の「熱さ」懸命に演じた

出演者が舞台あいさつ

映画「学校をつくろう」完成披露試写会。橋本一郎さん、池上リョウマさん、写会、会場を埋めた300人を前、左から監督の神山征二郎さん、原作者に「創立者の熱さ」を懸命に演じた、者の志茂田景樹さん、近衛はなさんとあいさつする相馬永胤役の三浦貴。試写会後は感動の拍手に包まれた大さん(中央)。右へ柄本時生さん、12月12日、神田キャンパスで。

祖父からのメッセージだ

(正之さん)

祖父の成層戦争での辛い体験や、家族を大切にしたいという思いが、この映画の大きなテーマになっています。今、この時代に、若い人たちが感じるべき課題、教育の問題点も、映画の若い人たちが感じ取ったメッセージに込められてほしい。(光之さん)

全学生に見てほしいですね

専大前「満留置」店 河合 芳江さん

創立者4人の友情に感動しました。明治時代、アメリカ留学は、大変な苦勞だったでしょう。本人の努力もあって、分たの大学を誇りにするから、かばいあって、助け合って成り遂げた。その姿がよく描かれていて、学ぶことの素晴らしさを、創作者たちの思いひ見せてほしいです。

生き続ける創立者の思い

士橋 敷さん(経済2)

母校がどんなふうになっているのかを知りたくて、映画を見ました。私たちが普通に通っている大学で毎日過ごしていると思うので、みんなもぜひ、創作者たちの思いひ見せてほしいです。

エキストラ出演で感動

小山 侑亮さん(法1)

エキストラとして出演させていただき、撮影現場で神山監督から「当時、こんなにかい子はいませんでした。母校の歴史をなつたよ」と言われたことが、いい思い出です。ぜひ多くの人に観てもらいたいです。

映画通し専大をアピール

高田 雄基さん(経済3)

当たり前のように通学している母校の背景と歴史を知りたいという思いが、この映画の大きなテーマです。ぜひ多くの人に観てもらいたいです。

母校の歴史を知りたくて

佐々木翔平さん(法3)

自分という人間を、向きながら生きていくこと、多くの人の経験が、自分という人間性になり、自分という人間性を知りたいという思いが、この映画の大きなテーマです。ぜひ多くの人に観てもらいたいです。

学ぶ意義、目標持つ大切さ

高橋 彩さん(経営4)

専大生であることの誇りを再認識しました。創業者の熱い思いが、自分という人間性になり、自分という人間性を知りたいという思いが、この映画の大きなテーマです。ぜひ多くの人に観てもらいたいです。

専大生であることに誇り

高野あゆ美さん(商4)

専大がつくれたたきかけを知りたくて、試写会に参加しました。私は専大生生活を通して、自分という人間性を知りたいという思いが、この映画の大きなテーマです。ぜひ多くの人に観てもらいたいです。

頑張る気持ちがわかる

今井 雅之さん(文3)

ひたむきに学問を追究し、日本のために力を尽くす、勉強を頑張ろう、という思いが、この映画の大きなテーマです。ぜひ多くの人に観てもらいたいです。

勉強シーンは重要な場面

富野 佑也さん(法4)

明治維新という転換期に、目的を持って行動し、人との出会いに支えられ、自分という人間性を知りたいという思いが、この映画の大きなテーマです。ぜひ多くの人に観てもらいたいです。

目標に突き進む姿に感動

山崎 靖博さん(経済3)

自分たちと同年代の人たちが成し遂げたことに、自分という人間性を知りたいという思いが、この映画の大きなテーマです。ぜひ多くの人に観てもらいたいです。

人生が変わる映画

菅沼 堅吾育友会長

映画館から出てくると、主人公になりきった人々に、自分という人間性を知りたいという思いが、この映画の大きなテーマです。ぜひ多くの人に観てもらいたいです。

日高 義博理事長・学長

育友会の創立50周年記念事業である志茂田景樹先生の『獅子たち』を原作に、校友会の役員の方々の発案で映画という企画が持ち上がった。神山征二郎監督とともに脚本を担当してくださった加藤

甘竹 秀雄校友会会長

「この素晴らしい小説を、なんとしても映画にしたい」と志茂田景樹先生の『獅子たち』を読み、創立者4人の建学の精神に感動。その姿を専大生はじめ多くの若人たちに、映画で伝えたい。その思いが、この映画の大きなテーマです。ぜひ多くの人に観てもらいたいです。

菅沼 堅吾育友会長

映画館から出てくると、主人公になりきった人々に、自分という人間性を知りたいという思いが、この映画の大きなテーマです。ぜひ多くの人に観てもらいたいです。

若人で埋まる会場に

創立30周年記念映画「学校をつくろう」完成披露パーティが昨年12月12日、試写会終了後の神田キャンパスで催された。

和やかに開催 完成披露パーティ

日高義博理事長・学長、菅沼堅吾育友会長、甘竹秀雄校友会会長、同映画の関係者ら80人が参加。また、衆議院議員で民主党政調会長、国家戦略担当大臣を務める玄葉光一郎氏、参議院議員で文部科学副大臣の鈴木寛氏がかけつけた。両氏とも「政界の映画ファン」を自認。映画に込めるメッセージを専修大学に贈った。

玄葉光一郎・国家戦略担当大臣メッセージ

今、大学生の就職難が深刻化している。それは企業への就職には、自分という人間性を知りたいという思いが、この映画の大きなテーマです。ぜひ多くの人に観てもらいたいです。

「自分の足で立つ」大切さ教えられた

明治時代の学校をつくる、日高義博理事長・学長、菅沼堅吾育友会長、甘竹秀雄校友会会長、同映画の関係者ら80人が参加。また、衆議院議員で民主党政調会長、国家戦略担当大臣を務める玄葉光一郎氏、参議院議員で文部科学副大臣の鈴木寛氏がかけつけた。両氏とも「政界の映画ファン」を自認。映画に込めるメッセージを専修大学に贈った。

「自分の足で立つ」大切さ教えられた

明治時代の学校をつくる、日高義博理事長・学長、菅沼堅吾育友会長、甘竹秀雄校友会会長、同映画の関係者ら80人が参加。また、衆議院議員で民主党政調会長、国家戦略担当大臣を務める玄葉光一郎氏、参議院議員で文部科学副大臣の鈴木寛氏がかけつけた。両氏とも「政界の映画ファン」を自認。映画に込めるメッセージを専修大学に贈った。

「自分の足で立つ」大切さ教えられた

明治時代の学校をつくる、日高義博理事長・学長、菅沼堅吾育友会長、甘竹秀雄校友会会長、同映画の関係者ら80人が参加。また、衆議院議員で民主党政調会長、国家戦略担当大臣を務める玄葉光一郎氏、参議院議員で文部科学副大臣の鈴木寛氏がかけつけた。両氏とも「政界の映画ファン」を自認。映画に込めるメッセージを専修大学に贈った。

「自分の足で立つ」大切さ教えられた

明治時代の学校をつくる、日高義博理事長・学長、菅沼堅吾育友会長、甘竹秀雄校友会会長、同映画の関係者ら80人が参加。また、衆議院議員で民主党政調会長、国家戦略担当大臣を務める玄葉光一郎氏、参議院議員で文部科学副大臣の鈴木寛氏がかけつけた。両氏とも「政界の映画ファン」を自認。映画に込めるメッセージを専修大学に贈った。

「自分の足で立つ」大切さ教えられた

明治時代の学校をつくる、日高義博理事長・学長、菅沼堅吾育友会長、甘竹秀雄校友会会長、同映画の関係者ら80人が参加。また、衆議院議員で民主党政調会長、国家戦略担当大臣を務める玄葉光一郎氏、参議院議員で文部科学副大臣の鈴木寛氏がかけつけた。両氏とも「政界の映画ファン」を自認。映画に込めるメッセージを専修大学に贈った。